

SSKU

No. 80

落の会だより

八王子西局

料金別納
郵便

八王子ウッド工場&ぽぷら八王子開所式



平成 27 年 12 月 11 日



ぽぷら八王子開所時メンバー

低料第三種郵便

社会福祉法人 落の会

障害福祉サービス事業所

ひのき工房

就労継続支援 (B型)

生活介護

戸吹不燃物処理事業

〒193-0826

八王子市元八王子町2-1839-2

TEL 042(667)2158

FAX 042(667)2168

障害福祉サービス事業所

ふきのとう

生活介護

就労継続支援 (B型)

〒193-0834

八王子市東浅川町625-5

TEL 042(667)4158

FAX 042(667)9489

東京都認定短期入所施設

ころぼっくる

認定短期・日中一時

放課後等デイサービス

〒193-0834

八王子市東浅川町629-1

TEL 042(666)5609

FAX 042(666)5619

障害福祉サービス事業所

ぽぷら八王子

就労継続支援 (A型)

就労継続支援 (B型)

〒192-0001

八王子市戸吹町2104

TEL 042(696)5090

FAX 042(696)5091

<目次>

1. 理事長あいさつ	2
2. 27年度事業報告と28年度事業計画	
1) 本部	3, 4
2) ふきのとう	5, 6
トピックス	7
3) ころぼっくる	8, 9
トピックス	10
4) ぽぷら八王子	11, 12
トピックス	13
5) ひのき工房	14, 15
トピックス	16
3. 27年度決算報告	17
4. 28年度予算書	18
5. 藤の会への御寄附者名	19
6. 後援会だより	20, 21

表紙 ぽぷら八王子の開所式及び集合写真 (H27.12.11)

裏面 はち★ベビギフト提供の木工製品写真

障害福祉サービス事業所「ぽぷら八王子」の開設

理事長 岩澤六夫

障害を持つ人たちの就労の場とするため八王子市から戸吹不燃物処理センター手選別作業の委託をいただき、昨年2,3月に試運転を行い4月から正式に稼働しました。当初2名のメンバーは、作業方法を確立しながら少しずつ増やし1年で8名になりました。それぞれが働く意欲も能力も持っている人たちが集まりとても明るく元気に働いています。

“そんなに頑張らなくても！”というのが「とぶきふねん」に行った時の私の口癖です。この職場は、福祉の予算をいただくことなく一般の中小企業と全く同じです。障害者も健常者も全員が同じように働き、いただいた委託料から全員が賃金をもらって生活しています。

「とぶきふねん」の立上げが一段落した5月に新しい話が飛び込んできました。大企業の(株)エフピコ様が戸吹町の配送センターに新設する食品容器製造工場を請負う法人を探しているというのです。早速、八王子ワークセンターの土居代表の見学会に参加し、茨城工場を見させてもらいました。

クリーンルームの中で、テキパキと検品、結束、封入、ラベル梱包等の作業を手際よく続けているメンバーの働く姿に圧倒されました。

そして、帰りの車の中で、私は最初に手を挙げました。理事会の承認をもらって、担当の且田社長に、「是非やらせて下さい」と申し出ました。

それから数ヶ月、(株)エフピコ様への財務資料の提出や視察、面接などがあり、8月には内定をいただきました。

新宿の東京本社の小松会長様に、面接させていただいた時、新宿オークタワーの36階から久々に大都市東京のビル群を眺めながら平成2年総勢10名足らずで無認可通所施設を始めてから25年、小規模の社会福祉法人を作ってから15年、やっと有数の大企業から工場ごと仕事をいただけるまでになったのだなあと一とき感慨にひたりました。

事業所開設までの数ヶ月はまさに戦いでした。

スタッフの募集、面接、採用、メンバーの募集、面談、実習、八王子市への指定申請書類の作成等々2人しかいない本部だけでは無理なので書類づくりなど殆どひのき工房に手伝ってもらいました。

何はともあれ、ぽぷら八王子の27年度事業報告にあるように製造については、半年足らずで月産70万個生産の体制が出来ました。殆どのメンバーが毎日元気に働いています。課題も沢山ありますが「安心して意欲を持って働き続けられる職場」を創るためスタッフ・メンバー全員で頑張っていきます。

利用者家族の皆さん、いつも露の会各施設の活動を応援していただいている皆さん、ぽぷら八王子の今後の発展を暖かく見守って下さい。

平成27年度 法人本部 事業報告

社会福祉法人 藍の会 法人本部

1. 法人事業運営

理事会・評議員会を定期的に開催し、法人の事業方針、予算、決算等重要事項について十分な審議を行い確認しながら運営を行ってきた。

2. 新規事業の立上げ

- 1) (株)エフピコ様の製造委託の話を知り、念願だったA型事業所開設のため、理事会の了承を得て、取り組んできた。
スタッフ・メンバーの採用、実習、八王子市への指定申請書等、ひのき工房の全面的な支援を得て準備した。12月1日開所。施設長はじめスタッフ・メンバーさんの努力で、工場として軌道に乗せることが出来た。
- 2) 2～3月に実習し、4月から正式稼働した戸吹不燃物処理センターもメンバーも増え、皆の協力体制が出来つつあり、大きな事故もなく市の評価も得られるようになった。

3. 法人理念の理解のため

法人理念の理解のため、パンフレットに掲載、配布し、朝のミーティングでの唱和等で理解・定着に勤めた。

4. 経営中長期計画の策定 (H28～H33)

経営の中期計画策定にあたり、施設長会において素案作成を行うと共に、正規職員研修でも必要性についての教育を行った。

5. 賃金水準の改善

賃金水準は昨年比約2%upにすることができた。

6. 給与・会計業務の効率化

給与・会計業務効率化のために、ほのぼの会計ソフトを導入し、手作業を自動化するなど効率化に結びつけ、入力ミスの低減にも結び付いた。

7. 人材育成のための職員教育と施設間交流

職員の人材育成のため、年6回、階層別に研修を行い各自の担当業務の発表、施設職員間の交流等初年度としては成果があったと思う。

平成28年度 法人本部 事業計画

社会福祉法人 蔭の会 法人本部

- 1) **経営中長期計画の策定 (H29～H33)** 法人を設立して14年が経過し、この間3施設の建設、新事業の立上げ等、法人事業の拡充を行い、法人運営の基盤作りができました。今年度は、法人経営の将来構想について、施設長会や理事会で検討を行い、H29年度からの5ヶ年計画を策定出来るように努めます。
- 2) **人材育成のための職員教育と施設間交流** 蔭の会4施設職員による階層別研修を発展させ、今年度は、テーマを絞りより深い議論を通じて、人材育成と交流を計り、より幅の広い知識や技術の習得とその実施に結びつけていきます。特に正規職員研修では、予算、中長期計画の策定に参画させることにより、日常の支援だけでなくスタッフを指導する役割を担い、施設運営にも責任を持って関わり、施設長を補佐する役割が果たせる存在に成長してもらいます。
- 3) **賃金水準の改善** 賃金水準を上げるべく毎年底上げをしてきましたが、いまだ次世代を担うべき若手人材が応募する水準には至っていません。意欲のある若年層が、仕事に対してやりがいをもてるようにキャリアパスの構築を図り賃金を含めた労働条件の改善を進めて行くために、処遇改善助成金の継続取得は勿論、事業収入の増加と経費の削減を進め、賃金水準の向上を計ります。
- 4) **各施設の指導** 全施設が黒字運営が出来るよう支援・指導します。又、利用者の工賃(ふきのとう、ひのき工房)や賃金(ぼぷら八王子、とぶきふねん)を確保し、更に増額するためには、それぞれのスタッフが、まず現状を把握した上で、年間いくら売り上げ(稼げ)れば良いのか、そのためにどう考えていくべきか等、職員研修会でも勉強してもらいます。更に、新規事業開拓についても議論していきます。
- 5) **給与・会計業務の効率化** 今年度は、導入した会計ソフトでの作業が1順目を迎え、定着化を計ることにより、法人全体の会計処理の迅速化及び効率化を進めていきます。
- 6) **新設事業所「ぼぷら八王子」の会計処理について** 立上げ時から会計支援をしてもらっているひのき工房の協力を得ながら、ぼぷら八王子で会計処理が出来るように本部でもサポートを行っていきます。
- 7) **地域になくてはならない施設を目指して**
 - ①ふきのとうはその開設時(H2年)から毎年数回のバザーを行い、地域のお祭りにも積極的に参加し、地域住民の皆様にも親しまれ、リサイクルなど日常的に助けられてきました。おかげで新施設建設(H15年)もごく自然に認めてもらいました。新施設でのバザーを兼ねた工芸祭はスタッフ・利用者を中心に多くの父母、ボランティアさんが準備を手伝い多くの地域住民が参加され、とても盛況でした。
 - ②ひのき工房を何の関わりもなかった元八王子町に建設しようとしたとき、受け入れてもらえず地域の皆さんに“障がい者施設”を理解してもらうために何度も説明会を繰り返し、ようやく建設の同意をいただきました。開設(H21年)から7年、集団回収だけでなく、近隣住民との日常的なおつきあい、小、中学校との交流、町会の防災訓練、特防隊への参加、お祭り準備の手伝い、サタデースクール等に参加し、やっと地域に“あってもよい施設”になれました。
 - ③八王子市も大震災時の状況から地元町会への参加と交流を促すようになりました。とぶきふねん(H27年4月開設)は、市の清掃工場の中にあり、まだ地域との交流は出来ていません。昨年12月に開設したぼぷら八王子も開所式に町会長さんにも出席していただきましたが、今からどういう関わりを作っていくかを考えなくてはなりません。
 - ④蔭の会の理念にあるように、“安心して暮らせる地域社会の実現のため”に各施設とも地域社会に理解され、お互いに助け、助けられる関係を少しずつ築いていく努力をしていかねばなりません。例えば、施設周辺の草刈りをしたり、年間を通じて歩道を清掃したり、雪の後は年輩の方や小・中学生が歩きやすいように雪かきをしましょう。そうすれば、“いつもきれいにさせていただいてありがとう”という言葉で交流が生まれます。法人としても「地域になくてはならない施設」を目指してその活動を応援していきます。

平成27年度 ふきのとう 事業報告

ふきのとう施設長 江川 修己

<1年間の概括>

年度初めに、1名の職員が退職した以外、利用者(2名)、職員(1名)共に増えることはあっても、去っていく者がいない、とても安定した1年間でした。穏やかなペースで、日々が流れゆき、その落ち着いた雰囲気の中から、とても、クリエイティブな(創造的)活動が、継続的、発展的に作り出されていった1年であったと概括しても、異論は無いでしょう。

木工製作は、奇をてらうことなく、地道にコツコツと積み上げてきたものが、木のおもちゃの専門家から、市の行政マンまで幅広く高い評価を頂くことになりました。主力商品の「ちょー気持ちいい!!」が、八王子市に生まれ来る赤ちゃんたちに、市からプレゼントされるという素晴らしい企画が、静かに推薦してくれた人々の手によって、年度末に決まりました。

様々な文化的クラブ活動は、長年にわたる活動歴の「障害者運動の会」が神戸の全国大会参加も含め、今年も精力的に活動しました。絵画クラブが、文化展への出品、個展の開催、ハンドベルクラブが、福祉まつりのステージに上がり、高齢者施設で公演したりと、画期的な進展がありました。その他のクラブも、活発でした。

来年度は、こうした安定的な状況を維持し、更に工夫を繰り返し、より良きふきのとうを創出していきたいと考えます。

<27年度の成果>

1. 生産活動等売上

① 木工事業	1,478,183 円(前年比 158,314 円の増)
② その他の収入	349,225 円(前年比 228,017 円の増)
合 計	1,827,408 円(前年比 386,331 円の増)

前年度より、受注が増えたことと、こまめに出店をかけたことで、売り上げが伸びた。

又、数年分のリサイクル活動の収入が計上出来たことで(口座の移管)、その他の収入が倍増した。新たに月2回の定期的リサイクル活動を始動したことも、増収に繋がった。

結果、ふきのとうとしては、数年振りの年度末、期末手当が、利用者全員に1万~3万円の額で支給出来た。又、年度内に2回の工賃アップ(時給20円増)が実現出来た。

来年度に向けても、売り上げ増及びリサイクル活動を継続し、更なる工賃アップと期末手当が支給出来るよう努力・工夫したい。

2. 利用者支援の充実(抄)

[きめ細やかな関わり]

①定員が20名で、年間平均の1日利用者数は12~3人で、ほぼワンフロアで木工作業・生活介護を行っている。毎夕の引き継ぎ会、週一の定例スタッフ会を開き、全員の一日の活動・健康・メンタル・エピソード・予定等を記録し、評価し、共有している。非常にきめ細かく丁寧な処遇体制と言える。

②非常勤スタッフ含め、他の福祉施設での経験や、専門職・有資格者が多く日々の生活展開の検討、改善が迅速に成され、比較的重度の利用者が多いが充実した支援が、提供されている。

[クリエイティブな生産活動]

③主力商品「ちょー気持ちいい!!」は、四谷のおもちゃ美術館の仲介で全国各地から注文が入ると共に、様々な雑誌に取り上げられている。製作に携わる利用者にとって大きな励みと成っている。おもちゃコンサルタントの方々が、何度も来所し、相談に乗って下さる(無料奉仕)だけでなく、木工教室も2回開催した。

平成28年度 ふきのとう 事業計画

ふきのとう施設長 江川 修己

I. 事業運営方針

平成26年5月に制定された落の会の理念に基づき、ふきのとうは次の8項目を運営方針とする。

<基本的運営方針>

1. 「私たち抜きに私たちのことを決めないで」の標語を礎に、利用者中心主義を追求する。
2. 障害があるから出来ないではなく、障害が有っても出来ることの可能性を共に探る。
3. 集団的作業の場であるが、個別化の原則を貫く。
4. 木工作业を中心に据えつつ、様々な文化的活動も推進する。

<職員指針>

1. 職員組織の民主的運営と、責任の所在の明確化。
2. 職員は「May I help you? (何か手伝うことがあります?)」を基本とし、頭ごなしで過度なケアではなく、利用者本人の意思を重んじ、場合によっては「失敗する権利」をも保証する。
3. 「プライバシーの所有権は本人に有る」を基に、職務上の優位性にあぐらをかくことなく、コピー1枚取る時も、紛失のリスク前提に、個人情報の保護に真摯に取り組む。
4. 整理整頓で活動のスペースを広げ、心身共に、安全の確保と安心の提供を心掛ける。

II. 事業内容 (抄)

1. 生産活動

基本的考え方：木工製品の製作は、企画・作図・型取り・切り出し・磨き・色塗り・仕上げ・焼印・値付け・袋詰め・梱包・発送・販売等、利用者それぞれが出来ることを分担し、皆で協力しながら、かつ、ゆったりと取り組む。

1) 年間売り上げ目標 木工製品 180万円(月15万)

2) 製作活動

基本的考え方に則り、

- ①全工程に利用者が関わることを重要視する。
- ②Tさんのひも通し作業のように、職員がやれば3分で出来てしまうことだが、Tさんの専属領域を侵すことなく、作業効率を優先しない。
- ③昨年度、Mさんの友人の発案で「ハート型のまな板」が新商品として開発され、とても好評で売れ筋であった。今年度も利用者の参加を得て、新商品を開発していく。
- ④遊んでみてどうか、という製品開発への利用者の関与も、大事な工程と捉える。
- ⑤「ちょー気持ちいい」の磨きそのものが、重度障害利用者の作業工程への積極的関与であり、本人にとっては、リハビリ的効果もあるという一挙両得の作業といえる。

3) 販売活動

八王子市からの受注「はち★ベビギフト」の月産150個を4月よりスタートする。

おもちゃ美術館を始めとする委託販売の他、外部受託・出店販売・自主販売を展開する。

2. 日常活動

1) 個別支援計画

年2回、5月と11月に個別支援計画を策定する。サービス管理責任者が中心となり、全職員で分担し、平生のコミュニケーションをベースに、必要に応じた面談、聞き取り、家庭訪問等を実施し、文章化する。型通りの絵に描いた餅ではなく、個性的で自由闊達な計画書で有りたい。

2) 生活援助

今までの日常生活、家庭、学校では体験、実行出来なかったことに、チャレンジするくらいの気概を持って、生活援助にあたる。

ふきのとう トピックス



2016年3月絵画クラブの
個展が開かれました



ふきのとう前の三本の、のぼり
新調しました



ハンドベルクラブ 福祉まつりにて3回目の外部公演



八王子東特別支援学校
夏まつり出店



はち★ベビギフトにちょー気持ちいい！！
採用される

平成27年度 ころぼっくる 事業報告

ころぼっくる施設長 秦 淳一郎

<27年度総括>

- ・27年度は、新規事業「放課後等デイサービス」を4月よりスタートし、利用登録者数も月ごとに増加。放課後デイ職員は日中一時支援で培ったスキルを土台にし、新たに保育的視点を学びつつ、実践を重ねていきました。また、毎日、出勤できる職員を雇用できる事業となり、継続的な職員指導、打ち合わせが行える環境となり、支援、保育の質がころぼっくる全体として、向上してきました。日中一時支援は、放課後デイが市内に多く立ち上がる中、利用率が減少しているものの、放課後デイでは対応できない時間の受け皿や学童期の宿泊先の確保としてのニーズが増えつつあります。移動支援事業については、職員体制がとれないため、実施しませんでした。
- ・設備備品については、職員の増員、放課後デイ事業スタートに伴い、事務備品から室内玩具に始まり、新規車輛の購入を行うことができ、施設として、安心して生活で利用できる環境が整備されました。
- ・関係機関との連携、研修については、内部研修にとどまらず、積極的に外部研修に参加し、「事業運営、支援、保育」に必要な知識を獲得し、現場に活かすための議論を行い、意味のある研修を実施することができました。また、職員1人1人の仕事へ向き合う姿勢が向上していきました。

<27年度実績>

① 認定短期入所事業 (八王子市在住の方を対象とする)

月当たりの支給量 5日/月

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
日数	82	66	77	75	59	65	72	87	64	59	54	78	838
人数	28	22	27	27	21	22	28	30	23	19	23	27	297

② 日中一時支援事業 (八王子市・日野市在住の方を対象)

月当たり支給量56時間

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
時間	502	479	415	492	519	374	457	425	337	396	417	415	5228
回数	115	112	101	121	122	102	109	101	86	102	106	117	1294
人数	36	36	33	37	34	32	37	36	30	34	37	35	417

③ 放課後等デイサービス事業

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
回数	64	80	94	97	113	112	110	106	103	107	119	126	1231
人数	14	17	18	19	20	21	22	22	20	23	24	24	244

平成28年度 ころぼっくる 事業計画

ころぼっくる施設長 秦 淳一郎

事業所名	ころぼっくる
事業名	障害児通所事業 (1) 放課後等デイサービス 地域生活支援事業 (1) 認定短期入所事業 (2) 日中一時支援事業 (3) 移動支援事業・・休止
職員数	施設長 (1) 常勤職員 (2) 非常勤職員 (20)

1. 事業内容・事業目的

障害児通所事業

- ・放課後等デイサービス (八王子市在住の方を対象とする)
 1人ひとりの個性と集団で育まれる生活力を大事にし、継続性による変化を大切に捉え、ライフステージに必要な活動を取り入れ、様々な体験を通して、個々の感性を育むことを目的とする。

地域生活支援事業

- ・認定短期入所事業 (八王子市在住の方を対象とする)
- ・日中一時支援事業 (八王子市・日野市在住の方を対象とする)
 障害児(者)の日中活動及び宿泊の場を確保し、日常的に介助している家族の就労支援及び一時的な休息時間の確保を目的とする。及び障害児(者)の緊急一時保護を目的とする。

2. 事業運営方針

障害のある方が、住み慣れた地域でいきがいをもち、自分らしく生きることを確立できるように支援する。

- (1) 利用者とその家族が安心して利用できる環境を作る。
- (2) 利用中、一人ひとりの持つ能力を活かした生活ができるように支援する。
- (3) 地域の人たちと交流の機会を持ち、相互理解の場を持つ。

3. 具体的な取り組み

平成28年度も、これまでの事業継続とともに、関係機関との連携を強化し、よりよい支援に向け内外の研修を通して、信頼と安心のサービス向上に取り組みます。

- ① 「利用者とその家族支援」
- ② 「関係機関との連携」
- ③ 「より質の高い職員集団を目指す」
- ④ 「地域との連携及び交流の継続」
- ⑤ 「環境衛生及び整備の徹底」
- ⑥ 「定期的な防災訓練の実施」

ころぼっくる トピックス

■放課後等デイサービス事業

開所から1年が経ちました。無事1年が過ぎ、安堵する一方で、新規にご利用される方やピカピカの1年生のご入会で、日々の活動に躍動感が生まれました。また、ころぼっくるの既存事業である認定短期入所事業と、日中一時支援事業の併用利用も、近年増えてきました。

■活動内容

放課後等デイサービス事業、日中一時支援・認定短期入所事業ともに、音楽活動、造形活動、外出活動を軸に、一人一人の思いを大切にしながら、自分らしく過ごし、楽しめるようサービスを提供しています。

●造形活動で、南浅川のこいのぼりに負けじと作成したのが下の造形です。南浅川に泳ぎ始めた時は



風の強い日で、驚くくらい色鮮やかなこいのぼりが大きく揺れ動いていました。その光景が残っているのか、このこいのぼりたちもとっても色鮮やかでした。

●昨年度末、日本財団からの助成による車両贈呈、今年度、東京善意銀行の助成による物品購入を行いました。車両贈呈は、ホンダのステップワゴンで最大8人乗り、放課後デイで活躍中です。物品購入は、浴室マットと室内外兼用の防水マットを購入しました。浴室内の雰囲気明るく爽やかになり、お風呂の時間が心地よくなりました。防水マットは、横になってのんびりする場所、運動する場所、時には相撲ごっこの土俵として、ご利用者の方が思い思いに過ごせる場所の一つとなっています。

●アシナガバチの巣を、昨年は数個駆除しましたが、今年も早くから巣を作り始めていたので駆除を行いました。近くの公園に向う園児たちも利用するころぼっくるの横の道は、駆除により安心して歩けるようになりました。今後も草刈りなどを行い、地域の方が利用し易い環境を目指したいと思えます。

平成27年度 ぼぷら八王子 事業報告

理事長 岩澤六夫
ぼぷら八王子施設長 草間 実

1. 開設に至る経過

1) 応募

H27年5月(株)エフピコ様が八王子市を通して食品容器組立工場で障がい者の就労事業を請負う法人を募集。就労の場を増やそうと露の会として応募。(株)エフピコ様が視察・面接を経て露の会を指名。

2) 指定申請

八王子市に対し、就労継続支援A,Bの指定申請書を作成し提出し、12月1日付で指定。

3) 事業所開設の準備

担当する支援スタッフの採用。障がいのあるメンバーの募集。茨城工場での実習。
(株)エフピコ様が八王子市配送センターの中に工場・組立機械設備等全て準備していただいた。

2. 事業所開設

1) 12月1日障害福祉サービス事業所「ぼぷら八王子」正式開所。A型7名、B型4名のメンバー11名、スタッフ8名合計19名でスタート。

2) 12月11日開所式。小松会長、佐藤社長様他(株)エフピコの担当役員の方々、村松副市長、福祉部長、障がい者福祉課長、他支援機関、学校の皆さん、スタッフ、メンバー、家族、露の会理事等が出席して開所を祝いました。

3. 工場立上げ状況(草間施設長)

・(12月)従業員・スタッフともに殆ど機械に触れるのも初めての人たちに1つずつ作業を指導しながら手探り状態でのスタート。スタッフも休日返上で機械の調整、メンテをしたおかげで驚異的な57万個達成。

・(1月)新年を迎え「休まずに出勤する」「解らない事は小さなことでも聞く」という方針を伝えました。

・(2月)機械も段々と馴染み、スタッフも少しずつ熟練してきたため、目標を大幅に超える70万個達成。

・(3月)(株)エフピコ副本部長が来場され、2ヶ月のエフピコ監査で色々指摘された事項について事故・災害を出さない工場にすべく指導されました。生産は72万個を更新しました。

4. まとめ

1) (株)エフピコ様の全面的な御支援と工場長、主任の指導のおかげで、生産を軌道に乗せ、障がいを持つ人たちの「就労の場」を一つ増やすことが出来たことは、露の会にとってとても大きなことです。

2) 製造請負の事業所ですからまず生産立上げ第一は当然のことですが、殆ど全て障害者支援は初めてのスタッフに対して「障害福祉サービス事業」についての基本的な教育もする余裕がなく、サビ管や経理総務担当さらには現場スタッフ全員による支援会議等組織的な運営が出来るよう努めねばなりません。

平成28年度 ぽぷら八王子 事業計画

ぽぷら八王子施設長 草間 実

I. 基本方針

1. ぽぷら八王子に働く、全てのメンバー、スタッフがお互いを人格を持ったひとりの人間として認め合うことを基本とします。
2. スタッフはメンバーの立場に立った支援に心がけ、毎日気持ちよく、笑顔で安心して、意欲を持って働き続けられる職場創りに努めます。

II. 事業運営方針

1) 品質第一の生産体制を確立します。

- ・徹底した品質管理を行い、お客様は勿論(株)エフピコ様に絶対にご迷惑をかけない体制を作ります。
- ・そのため、施設長・主任による設備保守・品質向上のためのスタッフ教育に努めます。

2) 安心して、気持ちよく、意欲を持って働き続けられる職場を創ります

- ・障害福祉サービス事業、基本的人権、虐待等について法人本部による職員教育を行いメンバーの不安や悩みを把握し、定期的に支援会義でスタッフの共通認識とし、スタッフの声掛けや面談で解決するような体制を作ります。
- ・毎日の連絡帳や見学会(祝日)で家族や支援機関との信頼関係を作ります。
- ・日帰り旅行やフロアーホッケー等楽しみの場を作ります。

3) 安全対策と健康管理

- ・まず職場の安全や災害時の避難対策等ルール作りを行い、事故のない職場作りを進めます。
- ・感染症防止対策や定期健康診断を行います。

4) 職員研修に努めます

- ・職員会議と支援会議を定期的に行き、法人や事業所の役割を理解し、事業方針の具体的実施とサビ管を中心とした日々のメンバー支援の充実をはかります。
- ・法人本部主催の階層別研修会に参加し、職員の資質向上と交流をはかります。

5) 地域との連携交流

- ・地元戸吹町会のお祭りや防災避難訓練等に参加し、地域住民との交流を模索します。
- ・戸吹町内にある障害者施設との交流の機会を作るよう模索します。

ぽぷら八王子 トピックス



工場全景（この他に食堂、相談室、事務室、更衣室等があります）



検品作業



検品作業



結束作業



包装作業



箱詰作業

それぞれが担当する
作業に集中して
いますね。

平成27年度 ひのき工房 事業報告

ひのき工房施設長 関 裕子

< 27年度の成果 >

1. 自立を目指す利用者さんの支援 に力を注ぐ！

- 1) 昨年立ち上げたとぶきふねんの「不燃物処理事業」は、4月に正式開所し、障がいのある人たちの就労先の選択肢を増やすことに貢献した。障害のある人に最低賃金以上の賃金を支払うことができ**自立と働く意欲**に繋がった。ひのき工房就労Bから4月に1名**就労**し、現在も元気で働いている。作業開始時より混入危険な注射針の対策、暑さ対策等課題に対応し、八王子市の信頼にも応えられるように努めた結果、開設時より大きな事故もなく、**安全で順調**に1年間稼働出来たことは、大変喜ばしいことです。
- 2) 自立を目指す利用者の新たな進路となるべき就労継続支援A型の新規事業「ぼぶら八王子」の開設に本部と共に全面的に協力。10月から2か月間、ひのき工房内でぼぶら入所予定のメンバーのモチベーションアップ、立ち作業等の実習、訓練を重ねた。その結果、利用者さんの不安は薄れ、12月に開設したぼぶら八王子に**利用者5名**を送り出すことが出来、現在も元気に仕事を継続している。A型利用者は**最低賃金以上の賃金**を、B型利用者も比較的高い工賃を得ることができ、さらに彼らの**自信に繋がり自立**に向けて進んだ。

2. 利用者さん活躍で `年間売上1,200万円、を達成、27年度も着実に工賃向上！

- 1) 前年度より売上約**198万円増**で**工賃アップ**を図ることが出来、就労B全利用者平均月額工賃は、前年度に比べ1,876円アップし、22,705円(就労B)となった。

(就労B 週4～5日利用者平均月額工賃3万円)

リサイクル資源回収では、廃車に伴い中古の軽トラを買い替え配備、一昨年に増車したパッカー車等により、27年度も回収の効率化、作業者の負担軽減を進めた。利用者は、暑い中でも大雨でもパッカー車やダンプ車に乗り込み、職員と共に資源回収に励んだ。

木工事業では、八王子市の「はちベビギフト」のサンプル**製品を開発**し提出。

当施設の木工品が認められ、28年度の**大型受注を獲得**できた。

- 2) 生産活動売上

木工	リサイクル(含薪割)	発泡スチロール減容	農園	その他	合計
386.3万円	600.5万円	51.9万円	44.6万円	138.8万円	1222.1万円

3. 美術展に利用者さんの作品入選・受賞！主体的に取り組み、楽しみを増やせる支援実施！

- 1) 「生活の中で楽しみを増やす」「できることを増やす」ことをめざして、お菓子作り教室、月2回手話教室、毎週の利用者お話し会、昼休みのレクや散歩を実施、12月にわくわくピレッジで手話コーラスのミニコンサート開催。ゲーム大会、カラオケ会、花火会、食事会等のレクを年間通して実施。
- 2) 東京都障がい者総合美術展で本宮さん**入選**(彫刻)・今井さん**努力賞**(絵画)をいただき大喜び。来賓の高円宮様の前で都知事から表彰状を授与。
- 3) 読売光と愛の事業団「アート之力」助成金をいただき、利用者の**絵画カレンダー**製作。

4. 地元町会、学校、住民の皆さんと交流、協力関係がさらに深まる

- 1) 地元町会**集団回収**、**総合防災訓練**や夏祭り等の町会各種活動へ参加。
- 2) 地元**小学校**のサタデースクール・木工授業・坂の除雪、**中学校**の**社会科体験**等に協力。
- 3) 近隣の方のご厚意で、毎月1回アロマテラピー体験を実施し、利用者さんに喜ばれる。
- 4) 第7回**ひのき工房祭**を町会等の支援・協力をいただき実施。城山中のダンス部と散田小町太鼓参加で盛り上がる。地元住民・中学生・先生・ご家族等との地域交流の場になった。

平成28年度 ひのき工房 事業計画

ひのき工房 施設長 関 裕子

1. 事業方針

- 1) 私たちは、利用者の立場に立った支援を行い、利用者が**主体性**をもって生き生きと働き、心地よく**笑顔**で過ごせるよう支援する
- 2) 毎年工賃アップを図り、3年以内に利用者工賃平均月額**3万円**の実現をめざす
- 3) 昨年開始した八王子市から受託の戸吹不燃物処理事業を軌道に乗せ、障がいのあるメンバーの**就労の場を確立**する
- 4) この地域で障害のある人もない人も**共に手をたずさえて**生きていけるように、地元住民・町会小中学校・病院等と**地域交流**を深めると共に、**地域の皆様にも役立つ施設作り**をめざす
- 5) 就労希望の利用者の相談に応じ、実習・訓練を行い**就労**をめざす

2. 生産活動 — やりがいと利用者工賃アップのため年間売上1,300万円以上をめざす！

- 1) 事業別年間売り上げ目標

木工	リサイクル (含薪割)	発泡スチロール減容	農園	その他	合計
540万円	600万円	50万円	42万円	132万円	1,364万円

- 2) 木工：初めての大型受注を利用者・職員一致協力して成し遂げる。(1年間毎月200個生産)市受注の妊婦さんへのプレゼント(木のおもちゃ)を毎月安定して生産し、納品期日を守るよう責任を持って取り組み、通常品もできるだけ継続して生産できる体制を取る
- 3) リサイクル：利用者・職員協力し、回収・分別・薪作りに安全第一で取り組む
- 4) 発泡スチロール減容：原料を定期的に確保し、毎月少しずつ売り上げを伸ばす
- 5) 霊園清掃：今年度より受託する作業に1年間責任を持って取り組み、来年に繋げる

3. 戸吹不燃物処理事業を安全第一で日々の作業を完遂する！ (とぶきふねん)

障がいのあるメンバーに最低賃金以上を支給し、安心して働けるより良い就労の場を創る

4. 利用者さんが元気で働けるように健康管理の充実をめざす！

- 1) 八王子保健生活協同組合城山病院の嘱託医師による訪問相談を継続実施(月1回)
- 2) 理学療法士によるリハビリ及び看護師による健康管理指導を実施(週1回)
- 3) 医師の指導にもとづいた歩行リハビリ等を、職員が付き添い安全に毎通所日に実施

5. 創作活動等に力を入れ、生活の中で楽しみを増やす！

- 1) 4月東急スクエアでアート展開催、6月クリエイトホールでコンサートに参加(手話コーラス)
- 2) 1年を通し、利用者の皆さんが楽しめる行事を企画する(旅行、ゲーム大会、カラオケ会、花火会、祭等)
- 3) 昼休みを一緒に楽しく過ごす(将棋、ウノ、トランプ、ゲーム、卓球、散歩、談話等)
- 4) お菓子作り教室、月2回の手話教室、毎週の利用者中心のお話会、アロマ体験を継続実施

6. 地域交流を大切に、町会や医療機関等地域との連携強化を図る！

- 1) 元八2丁目・3丁目町会集団回収、城山小学校の木工教室・中学校の職場体験実習等に積極的に協力、はちせい祭、町会夏祭り、町会合同防災訓練等にも積極的に参加し、地域住民と今年もさらに強いつながりを深め、災害時等連携のとれる体制が築けるように努める
- 2) 11月に第8回ひのき工房祭を実施し、地域交流イベントに育てる

7. 職員の資質向上とチームとして連携のとれた職員集団をめざす！ 一会議の充実、研修会積極参加

ひのき工房 トピックス

最近の出来事・行事紹介

ひのき工房では、利用者さんの作品を展示したアート展を開催したり、手話コーラスを色々な場所で披露する等、活動・活躍の場が大きく広がっています。
ほんの一部ですが紹介します。



今井さんの描いた絵画が、東京都障害者総合美術展で努力賞を受賞しました！



ひのき工房まつりでは、たくさんの方に足を運んでいただき、ありがとうございました。



本宮政吾さんの彫刻・版画、焼きペンによるアート作品、今井隆さんの絵画を展示した「ひのき工房アート展」を4月に八王子で開催しました。

事業活動収支内訳表

(自平成27年4月1日 至平成28年3月31日)

(単位:円)

勘定科目		本部	ひのき工房	ふきのとう拠点	ほぶら八王子 拠点	ころぼっくる拠点 放課後等デイ 認定短期・日中 一時	諸の会 合 計	
サービス活動増減の部	085 就労支援事業収益	0	61,221,832	1,827,408	8,926,679	0	71,975,919	
	01 木工事業収益	0	3,863,928	1,478,183	0	0	5,342,111	
	02 農産品事業収益	0	446,091	500	0	0	446,591	
	03 リサイクル事業収益	0	5,164,193	239,695	0	0	5,403,888	
	04 仕入品販売事業収益	0	712,808	109,030	0	0	821,838	
	05 生活介護事業収益	0	297,460	0	0	0	297,460	
	06 薪割事業収益	0	840,887	0	0	0	840,887	
	07 不燃物処理事業収益	0	48,999,999	0	0	0	48,999,999	
	08 発泡事業収益	0	519,746	0	0	0	519,746	
	09 食品容器製造事業収益	0	0	0	8,926,679	0	8,926,679	
	10 その他事業収益	0	376,720	0	0	0	376,720	
	086 障害福祉サービス等事業収益	0	86,827,947	42,016,289	9,741,758	39,740,454	178,326,448	
	01 自立支援給付費収益	0	68,860,451	38,156,589	6,313,338	0	113,330,378	
	03 利用者負担金収益	0	192,686	83,700	3,720	0	280,106	
	05 特定費用収益	0	1,700,810	188,000	295,700	0	2,184,510	
	06 その他の事業収益	0	16,074,000	3,588,000	3,129,000	39,740,454	62,531,454	
	091 経常経費寄附金収益	46,173	428,140	44,935	40,000	100,000	659,248	
	01 寄附金収益	46,173	178,140	44,935	40,000	100,000	409,248	
	02 助成金収益	0	250,000	0	0	0	250,000	
	サービス活動収益計(1)		46,173	148,477,919	43,888,632	18,708,437	39,840,454	250,961,615
	費用増減の部	021 人件費	6,651,940	56,930,462	26,987,744	10,377,481	29,675,616	130,623,243
		022 事業費	0	12,240,319	5,213,604	1,109,752	4,001,762	22,565,437
		023 事務費	1,324,834	5,370,519	3,086,996	1,077,070	3,878,172	14,737,591
024 就労支援事業費用		0	57,739,689	1,864,676	7,385,248	0	66,989,613	
01 就労支援事業販売原価		0	57,739,689	1,864,676	7,385,248	0	66,989,613	
028 減価償却費		140,400	10,805,119	1,368,460	91,666	0	12,405,645	
029 国庫補助金等特別積立金取崩額		0	△7,423,405	△876,733	0	0	△8,300,138	
030 徴収不能額		0	0	0	26,440	0	26,440	
サービス活動費用計(2)		8,117,174	135,662,703	37,644,747	20,067,657	37,555,550	239,047,831	
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)		△8,071,001	12,815,216	6,243,885	△1,359,220	2,284,904	11,913,784	
サービス活動外増減の部	094 受取利息配当金収益	1,156	1,699	1,446	252	594	5,147	
	099 その他のサービス活動外収益	15,530	4,668,229	41,740	216,350	285,462	5,227,311	
	01 受入研修費収益	0	10,000	0	0	0	10,000	
	02 利用者等外給食収益	0	1,848,400	0	138,650	0	1,987,050	
	04 雑収益	15,530	2,809,829	41,740	77,700	285,462	3,230,261	
サービス活動外収益計(4)		16,686	4,669,928	43,186	216,602	286,056	5,232,458	
費用増減の部	033 支払利息	0	0	0	70,257	13,166	83,423	
	038 その他のサービス活動外費用	0	△250	0	0	0	△250	
	01 利用者等外給食費	0	△340	0	0	0	△340	
	03 雑損失	0	90	0	0	0	90	
	サービス活動外費用計(5)		0	△250	0	70,257	13,166	83,173
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)		16,686	4,670,178	43,186	146,345	272,890	5,149,285	
経常増減差額(7)=(3)+(6)		△8,054,315	17,485,394	6,287,071	△1,212,875	2,557,794	17,063,069	
特別増減の部	100 施設整備等補助金収益	1,490,000	0	0	0	0	1,490,000	
	03 設備資金借入金元金償還補助金収益	1,490,000	0	0	0	0	1,490,000	
	106 事業区分間繰入金収益	0	0	0	0	32,483,670	32,483,670	
	107 拠点区分間繰入金収益	3,304,000	0	0	1,000	0	3,305,000	
	108 サービス区分間繰入金収益	8,929,000	9,385,711	1,809,147	0	0	20,123,858	
特別収益計(8)		13,723,000	9,385,711	1,809,147	1,000	32,483,670	57,402,528	
費用増減の部	043 国庫補助金等特別積立金積立額	1,490,000	0	0	0	0	1,490,000	
	047 拠点区分間繰入金費用	1,000	0	3,304,000	0	0	3,305,000	
	048 サービス区分間繰入金費用	0	18,314,711	1,809,147	0	0	20,123,858	
	049 事業区分間固定資産移管費用	0	0	0	0	57,736,374	57,736,374	
	特別費用計(9)		1,491,000	18,314,711	5,113,147	0	57,736,374	82,655,232
特別増減差額(10)=(8)-(9)		12,232,000	△8,929,000	△3,304,000	1,000	△25,252,704	△25,252,704	
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)		4,177,685	8,556,394	2,983,071	△1,211,875	△22,694,910	△8,189,635	
繰越	前期繰越活動増減差額(12)		996,384	29,752,192	20,408,908	0	8,025,300	59,182,784
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)		5,174,069	38,308,586	23,391,979	△1,211,875	△14,669,610	50,993,149
	次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)		5,174,069	38,308,586	23,391,979	△1,211,875	△14,669,610	50,993,149

資金収支予算内訳表

(自平成28年4月1日 至平成29年3月31日)

(単位:円)

勘定科目	社会福祉法人鶴の会本部	社会福祉法人鶴の会のき工房	社会福祉法人鶴の会ふきのとう拠点	ほぷら八王子拠点	こほぷくる拠点 放課後等デイ 認定短期・日中 一時	合計
事業活動による収支						
165 就労支援事業収入		85,383,840	2,000,000	30,000,000		97,383,840
01 木工事業収入		5,400,000	1,800,000			7,200,000
02 農産品事業収入		500,000				500,000
03 リサイクル事業収入		5,200,000	80,000			5,280,000
04 仕入品販売事業収入		600,000	120,000			720,000
05 生活介護事業収入		250,000				250,000
06 薪割事業収入		800,000				800,000
07 不燃物処理事業収入		52,350,840				52,350,840
08 発泡事業収入		250,000				250,000
09 食品容器製造事業収入				30,000,000		30,000,000
10 その他事業収入		33,000				33,000
166 障害福祉サービス等事業収入		80,567,000	42,864,000	41,835,380	36,664,321	201,930,701
01 自立支援給付費収入		64,000,000	38,680,000	22,302,000		124,982,000
02 障害児施設給付費収入					18,687,192	18,687,192
03 利用者負担金収入		100,000	120,000	33,480	458,856	712,336
05 特定費用収入		1,600,000	200,000	1,230,900	12,000	3,042,900
06 その他の事業収入		14,867,000	3,864,000	18,269,000	17,506,273	54,506,273
172 經常経費寄附金収入	46,173	120,000	50,000	50,000	30,000	296,173
01 寄附金収入	46,173	120,000	50,000	50,000	30,000	296,173
173 受取利息配当金収入	777				200	977
174 その他の収入	15,530	4,440,000	80,000	750,240	120,000	5,405,770
01 受入研修費収入		10,000	5,000			15,000
02 利用者等外給食費収入		1,800,000		243,840		2,043,840
03 雑収入	15,530	2,630,000	75,000	506,400	120,000	3,346,930
事業活動収入計(1)	62,480	150,510,840	44,994,000	72,635,620	36,814,521	305,017,461
支出						
121 人件費支出	8,039,596	59,850,000	28,980,000	23,845,000	31,362,000	152,076,596
122 事業費支出		12,090,000	5,770,000	6,368,448	3,534,240	27,822,688
123 事務費支出	2,040,715	6,200,000	3,262,000	2,240,236	2,428,120	16,171,071
124 就労支援事業支出		62,397,000	2,000,000	30,795,396		95,192,396
01 就労支援事業販売原価支出		62,397,000	2,000,000	30,795,396		95,192,396
128 支払利息支出				216,000	71,000	287,000
事業活動支出計(2)	10,080,311	140,537,000	40,012,000	63,465,080	37,455,380	291,549,751
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	△10,017,831	9,973,840	4,982,000	9,170,540	△640,839	13,467,710
施設整備						
176 施設整備等補助金収入	1,490,000					1,490,000
03 設備資金借入金元金償還補助金収入	1,490,000					1,490,000
施設整備等収入計(4)	1,490,000					1,490,000
備等収支						
131 設備資金借入金元金償還支出	1,490,000				913,000	2,403,000
施設整備等支出計(5)	1,490,000				913,000	2,403,000
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)					△913,000	△913,000
その他の活動による収支						
187 拠点区分間長期借入金収入	1,000,000					1,000,000
191 サービス区分間長期貸付金回収収入		1,000,000				1,000,000
193 拠点区分間繰入金収入	5,244,000					5,244,000
194 サービス区分間繰入金収入	7,218,000					7,218,000
195 その他の活動による収入		1,332,636				1,332,636
01 その他の活動による収入		1,332,636				1,332,636
その他の活動収入計(7)	13,462,000	2,332,636				15,794,636
支出						
136 長期運営資金借入金元金償還支出				6,400,000		6,400,000
141 拠点区分間長期貸付金支出			1,000,000			1,000,000
145 サービス区分間長期借入金返済支出	1,000,000					1,000,000
147 拠点区分間繰入金支出			2,976,000	2,268,000		5,244,000
148 サービス区分間繰入金支出		7,218,000				7,218,000
149 その他の活動による支出		2,669,436				2,669,436
01 その他の活動による支出		2,669,436				2,669,436
その他の活動支出計(8)	1,000,000	9,887,436	3,976,000	8,668,000		23,531,436
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	12,462,000	△7,554,800	△3,976,000	△8,668,000		△7,736,800
予備費支出(10)						
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	2,444,169	2,419,040	1,006,000	502,540	△1,553,839	4,817,910
前期末支払資金残高(12)						
当期末支払資金残高(11)+(12)	2,444,169	2,419,040	1,006,000	502,540	△1,553,839	4,817,910

ご寄附いただいた皆様に感謝申し上げます。

ご寄附御礼 ※期間 平成27年4月1日～平成28年3月31日

◎ころぼっくる運営資金として

木部マリコ様、蒨の会 後援会様

◎ふきのとう運営資金として

秋山様、鶴谷様、橋本オートサービス様、松岡様、伊藤保忠様、岩澤

◎ひのき工房運営資金として

(有) 鳶 高橋工業、ミニストップ、遠藤様、元二町会子供育成会様

元八王子二丁目町会、荒井様、高橋和子様、山田様、山本様、新田克子様、杉寄様
大和田麻雀クラブ様、中島農園様、茂木様、関、岩澤

◎ぼぶら八王子運営資金として

戸吹町会様、秋川流域生活支援ネットワーク様、寺島様、八王子ワークセンター様、
八王子ワークセンターリボン (所長 西條様)

◎蒨の会運営資金として

平松様、魚住様、笹野様、中間様、岩澤

※寄附金の金額については割愛させていただきます。

蒨の会 HP において、毎年法人の情報(理念、予算、決算等)を掲載開示することにより、より透明性のある活動に取り組んでおります。
昨年度は、日本財団様から“ころぼっくるの送迎車”の助成を受けることが出来き、贈呈式の模様をHPに掲載させていただきました。

♡♠♦♣ ♡ ♠ ♦ ♣ 蒨の会 HP : <http://fukinokai-swc.jimdo.com> ♡ ♠ ♦ ♣

社会福祉法人

蒨 の 会

理 念

障害のある人もない人も共に手をたずさえて
自分らしく自立した生活を営み
安心して心豊かに暮らせる
地域社会の実現をめざします

施設運営方針

1. 基本的人権の尊重
2. 生きる喜びを実感できる支援を
3. いきいき働き意欲とやりがいにつながる
就労支援を
4. 住みやすい地域社会を

私たちはめざします。



法人名 社会福祉法人 蒨の会
理事長 岩澤 六夫
本部 〒193-0826
八王子市元八王子町2-1839-2
☎ 042-667-2158 fax 042-667-2168
<http://fukinokai-swc.jimdo.com>

後援会だより

第14回 蕨の会、後援会総会開催

去る6月3日(金)「ひのき工房」において利用者、関係者、職員の方々の参加を得て、開催されました。提案した議事の①活動報告②決算報告③会計報告が承認され④役員⑤新年度の取組みと予算計画についても全会一致で承認されました。主な提案内容は次の通りです。

平成27年度の活動報告

平成27年度の後援会活動の柱となる、施設の利用者が加入する「全労災」保険の掛け金の一部を負担することが出来ました。また、施設を利用している利用者・家族の方にアンケートを実施し、後援会活動の在り方について議論を進めて参りました。他の取り組みについても、ほぼ達成することが出来ました。

会則の一部変更を行いました。(後援会事務所をふきのとうから蕨の会本部へ変更し、新設されたぼぶら八王子を追加しました。事業については、「ふきのとう、ひのき工房、ころぼっくる、ぼぶら八王子相互の交流、親睦をはかるため施設が希望する事業を行う」に改正しました。)

平成28年度の取組みと予算

☆施設援助金を蕨の会へ一括支出します。(施設を利用する利用者が加入する「全労済」保険の掛け金の一部を含みます。)

☆各施設で取り組む行事(ひのき工房祭り、いちよう祭り等)に参加をしていきます。

☆機関誌「蕨の会だより」の発行に合わせて後援会の周知活動に努めます。

☆本部のホームページに後援会の活動状況を掲載・充実させます。

☆蕨の会本部及び各施設の職員の方々との連携を強め、より活動し易い後援会組織作りをします。

28年度の役員は次の通りです。宜しくお願いします。

会長	山本 武志	副会長	佐藤 悦子
会計	平松 廣	事務局長	遠藤 秀男
幹事	木崎 真由美	百崎 道子	石川 三郎(顧問)
	柴山 弘樹	木村 茂樹	
会計監査	前田 和江	会計監査	大神田 芳子

「蕨の会後援会」平成27年度決算報告		
平成27年4月1日～平成28年3月31日		
科目	収入	摘要
会費	351,000	会員数 78名
返戻金	6,640	全労済団体保険一部負担金中途解約
雑収入		役員会費残
繰越金	817,320	
計	1,174,960	
科目	支出	摘要
施設援助費	30,000	ころぼっくる
寄付	213,090	全労済団体保険一部負担金
振込手数料	9,374	
通信費	3,488	ぼぶら八王子開所祝い電報
会議費	16,241	総会
雑費	2,102	印字サービス
繰越金	900,665	
計	1,174,960	

「蕨の会後援会」平成28年度予算		
平成28年4月1日～平成29年3月31日		
科目	収入予算額	摘要
会費	350,000	会員数 80名
繰越金	900,665	
計	1,250,665	
科目	支出予算額	摘要
施設援助費	300,000	本部(各施設へ全労済団体保険一部負担金含む)
通信費	10,000	はがき、切手
会議費	20,000	総会
消耗品費	10,000	振込用紙印字サービス・事務用品
振込手数料	10,000	
繰越金	900,665	
計	1,250,665	



多大なご支援ありがとうございます

27年度後援会会費を納入して頂き、心から厚く御礼申し上げます。
この会費は「ふきのとう」「ひのき工房」「ころぼっくる」「ぼぶら八王子」の四施設の活動に有効に使わせて頂きます。皆様のお名前を掲載させていただきます。(敬称略・順不同)

期間 平成27年4月1日～平成28年3月31日

肥後 伸一	(株)高尾印刷	本堂公子	松本健
植松敏夫	指原練	(株)愛和セレモニー	佐藤大介
佐藤修	飯塚美代子	園田均	藤森紀美子
(有)トダソウギョウ		山崎具子	瀬川和正
凶師学	天野幸子	石川三郎	田中セツ子
山内松雄	野中俊晶	石川保子	原島佐奈江
南廣子	熊谷弘之	熊谷一彦	荒井盛雄
本山瑞穂	清水真理	清水茂子	小佐保信
山本武志	長野幸雄	倉石陽子	中村美佐子
丹野章子	平松廣	百崎道子	大神田芳子
高橋和子	メタウオーター(株)	植松	永井和
喜作	嶋田玲子	根本威	市崎建介(満)
林和子	下楠菌アヤ子	伊藤要子	西陸めぐみ
佐藤一輝	佐藤一平	加藤スミ子	大木啓史
前島みち子	西東京事務機(株)	小崎久雄	遠藤秀男
志村久義	柿下豊一	柿下良治	大日向宏
八王子容器(有)	高津福枝	野島毅	岩澤はやと
(株)三和設計	向山優磨	でいさあびす太陽	関、岩澤

「薔の会 後援会」への会費納入のお願い
 年会費 一口 1,000円 一口以上
 お振込み先/郵便口座 0150-8-194227
 口座加入者 薔の会 後援会
 (振込用紙が紛失した場合は上記にお願いします)

編集後記 (本部 渡辺)

社会福祉法人「薔の会」の活動報告を、ご利用者のご家族様、ご支援を頂いている後援会会員の皆様、業務を受託させていただいている八王子市様、株式会社エフピコ様、更には、地域の皆様へお届けすることは法人として最低の責務と考えます。

引き続き法人や各施設へのご意見・ご提案いただけますよう、ご支援・ご協力をお願い致します。

☆HPにも詳細な資料を掲載しておりますのでご覧ください。

TEL 042-667-2158 FAX 042-667-2168 e-mail fukinokaihonbu@yahoo.co.jp

薔の会 HP : <http://fukinokai-swc.jimdo.com>

※管理不十分で送付された皆様には誠に申し訳ございません。お詫びいたします。

八王子市育児パッケージ「はち★ベビギフト」に ひのき工房とふきのとうの製品が採用されました！

八王子市は、保健師と面談した妊婦さんに、
多摩産材のおもちゃと国産ガーゼで作ったおくるみ、絵本を贈る
【はち★ベビギフト】を始めました。

市内3カ所の保健福祉センターを拠点に、妊娠から就学前の子育てまで
を支援するきっかけとして、八王子らしいギフトということで“ひのき
工房”と“ふきのとう”の木工製品が採用されました。

ひのきを原材料とした、つるつるした手触りが特徴。

- ふきのとう木工製品からは丸、三角、四角の「ちょー気持ちいい！！」
- ひのき工房は車輪のついたウサギ、カメ、クルマ、赤ちゃんが握れる
キリン、クマ、ウサギのにぎにぎパズルを毎月納品しています。

みんなで作った製品が、生まれてくる子供たちの手に届くことを喜び
にかえて利用者さんも職員も一丸となって作業しています。
赤ちゃんが、初めて手にする木のおもちゃ＝ファーストイとの出会い
をお母さんも楽しみにしていただけると嬉しいですね。

全国でもこのような素晴らしい取組が広がることを願っています。



みどりいっぱいのもちで
木と一緒に育つ「木育」

木と身近にふれ合い、豊かな創造性や自然への
思いやりを育む「木育」。

見て、ふれて、遊び、考える —
シンプルな経験を通して、豊かなこころを育みます。
そして、お子さんと一緒に木のおもちゃにふれ、
遊びながら、豊かな時間をお過ごしくださいね。

※八王子市ホームページの掲載から転用させていただきました

はち★ベビギフト



ちよー気持ちいいー!

にぎにぎパズル



くるくるにぎり車

発行人
郵便番号 二五七-〇〇七二
東京都世田谷区祖師谷三丁目一七二〇二
障害者団体定期刊行物協会
社会福祉法人 蔭の会

定価 一〇〇円
会費に含まれます

※八王子市ホームページの掲載から転用させていただきました